

2023年 4月入学

佐賀大学大学院 第2次学生募集要項

理工学研究科（博士前期課程※）

A O 入 試
社会人特別入試
外国人留学生特別入試

| 選抜種別 | 入学時期 | 出願期間 | 試験日 | 合格者発表日 | 入学手続期間 |
|----------------|---------|---------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------------------|
| AO入試 | 2023年4月 | 2022年 10月26日(水) ～11月2日(水) | 2022年 11月17日(木) | 2022年 12月13日(火) | 2023年 1月16日(月) ～1月23日(月) |
| 社会人特別入試 | | | | | |
| 外国人留学生 特別入試 | | | | | |

※この実施日程は10月13日現在の予定であり、今後の新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況により試験日程及び試験内容を変更することがあります。変更する場合は、佐賀大学ホームページでお知らせしますので、随時確認をお願いいたします。

佐 賀 大 学

目 次

| | | |
|-----|-------------------------|----|
| I | 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） | 1 |
| II | AO入試 | 7 |
| III | 社会人特別入試 | 16 |
| IV | 外国人留学生特別入試 | 22 |
| V | 入学手続等 | 29 |
| VI | 教育研究分野等 | 34 |
| VII | 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内 | 37 |

個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い入学志願者から提出された出願書類に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学金・授業料免除、（入学金徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

佐賀大学大学院への出願方法について

佐賀大学大学院では、PDF フォームを利用した願書の受付を行っており、募集要項については、原則としてウェブサイトでご確認いただいております。

志願者は、出願に必要な書類を電子ファイルとして管理できますので、早く簡単に書類作成が可能です。

●出願までの手順（概略）

- ・本学ウェブサイトから PDF フォーム等必要な書類をダウンロードしてパソコンに保存してください。必要な書類については、本要項記載の「出願書類等」のページでご確認ください。
- ・志願票・受験票等に必要事項を入力後、印刷してください。
- ・検定料は、納付書を印刷し銀行で振込手続を行ってください。
- ・印刷した出願用封筒ラベルを市販の角形 2 号（240×332 ミリ）の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。なお出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。
- ・出願書類は手書きでもかまいません。

※ PDF フォームとは、PDF の閲覧に利用する無償の Adobe Reader で直接データを入力できるようにした PDF です。

※ Adobe Reader をお持ちでない方は、最新のプラグインを入手してください。

※ A4 サイズの印刷が可能なプリンタのない方、PDF が表示されない方は学務部入試課へ資料請求してください。

I 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

【1】求める学生像

理工学研究科は、理学及び工学の専門分野における高度な知識と技術、科学的思考や洞察力に基づく問題解決能力、異分野の知識や考え方を含んだ分野の枠を越えた視点及び実践力、さらに、倫理観、知的財産に関する知識を修得した、創造性豊かな優れた研究者や技術者等の高度な人材を養成し、人類の福祉、文化の進展に寄与することを目的とします。本研究科における各教育科目を修得するために必要な素質を元に、以下に示すような次の学生を求めています。

- ① 専門分野に関する基礎学力及び基礎知識を持つ人
- ② 専門分野に関する課題発見・解決能力を養うために必要な思考力・創造力・判断力を持つ人
- ③ 研究者倫理や連携研究に対し積極的に取り組める人
- ④ 異分野にも関心があり、社会貢献や国際交流にも意欲的な人

各コースの求める学生像は以下の通りです。

■ 数学コース

数学分野の真理探究を求める過程で培われた論理的思考能力と獲得した汎用性の高い知識をベースに、幅広い分野において業務を遂行できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 主として大学の専門課程の数学の基礎学力及び専門知識を有し、さらに進んだ数学の理論、応用について学ぶ意欲を持つ人
- ② 数学及び数理科学の分野の高度な専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけて、社会への貢献を目指す人
- ③ 数学及び数理科学の分野で、即戦力として活動できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者を目指す人
- ④ 数学及び数理科学の分野の高度な専門知識を活かし、正確な表現力及びコミュニケーション能力を身につけて、国際的に活躍することを目指す人

■ 知能情報工学コース

情報通信技術（ICT）をベースに、人工知能、IoT、サイバーフィジカル、サイバーセキュリティ等の先端的な情報技術を活用してイノベーションを創出できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① コンピュータをはじめとする高度な技術に対する基礎学力を持つ人
- ② ICT 及び ICT 関連分野の高度な専門知識を活かして、先進情報システムの構築に取り組もうとする人
- ③ ICT 及び ICT 関連分野の高度な専門知識を修得し、高度なソフトウェアの開発を通して社会に貢献しようとする人
- ④ ICT 及び ICT 関連分野の技術交流により国際的に活躍することを目指す人

■ データサイエンスコース

数学やコンピュータに関する知識と応用力を有し、多種多様なデータおよびその利活用に取り組む現場の状況を理解した上で、データから価値のある知見や法則を発見し、それを課題解決に活かす能力を備えた高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学の基礎学力とともに、大学専門課程レベルの数学もしくはコンピュータに関する専門知識を持ち、データサイエンスへの興味やデータから新たな価値を創造する熱意と向上心を持つ人
- ② データサイエンス分野の高度な専門知識を活かして、データに基づく問題解決や意思決定ができる人材育成や社会の構築に貢献しようとする人
- ③ データサイエンスに関する高度な専門知識を修得し、データから新たな価値を見出すことにより、社会に貢献することを目指す人
- ④ データサイエンスを様々な分野の課題解決に活かし、国際的に活躍することを目指す人

■ 物理学コース

物理学分野の真理探究を求める過程で培われた論理的思考能力と獲得した汎用性の高い知識をベースに、幅広い分野において業務を遂行できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 大学卒業レベルの物理学の基礎知識を修得しており、より専門的な知識を身につけて、社会への貢献を目指す人
- ② 物理学の習得を通して論理的思考力、問題解決能力を身につけ、新しい分野を切りひらく熱意をもつ人
- ③ 物理学を生かした研究開発に意欲を持ち、科学技術を支える高度専門技術者・研究者を目指す人
- ④ 物理学の分野を中心として、国際的に活躍することを目指す人

■ 機能材料化学コース

材料化学の領域において、専門知識と実践力を有する高度な専門技術者、及び機能性材料の開発を通じて物質イノベーションを引き起こす企業で中心になって活躍できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 化学の基礎学力とともに、専門分野への興味や新しい分野を切りひらく熱意と向上心を持つ人
- ② 機能材料化学分野の高度な専門知識を活かして、物質の存在原理を解き、構成を把握し、特性評価を行い、高付加価値の物質を創製して、材料創成科学の発展に貢献することを目指す人
- ③ 機能材料化学分野の高度な専門知識を修得し、多面的に物事を考え活用して、地域や社会に貢献することを目指す人
- ④ 機能材料化学分野の技術交流に取り組み、国際的に活躍することを目指す人

■ 機械エネルギー工学コース

エネルギー工学分野の専門技術と知識を身につけた高度な専門技術者、及び実践的な知識を身につけ、科学的思考力と洞察力を再生可能エネルギーなどの産業界で発揮できる人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学の基礎学力と機械工学における専門的知識を持つ人
- ② 機械及びエネルギー工学関連分野の高度な専門知識を活かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
- ③ 機械及びエネルギー工学関連分野の高度な専門知識を修得し、ものづくりを通して社会に貢献しようとする人
- ④ 機械及びエネルギー工学関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

■ 機械システム工学コース

機械システム工学分野の専門技術と知識を身につけた高度な専門技術者、及び実践的な知識を身につけ、科学的思考力と洞察力を産業界で発揮できる人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学の基礎学力と機械工学における専門的知識を持つ人
- ② 機械及び機械関連分野の高度な専門知識を活かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
- ③ 機械及び機械関連分野の高度な専門知識を修得し、ものづくりを通して社会に貢献しようとする人
- ④ 機械及び機械関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

■ 電気電子工学コース

電気工学及び電子工学の領域において、高度な専門的知識・能力を有し、企業で中心になって活躍できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 電気電子工学分野に関する基礎学力及び基礎知識を持つ人
- ② 電気電子工学分野に関する課題発見・解決能力を養うために必要な思考力・創造力・判断力を持つ人
- ③ 研究者倫理を身につけ、電気電子工学分野における連携研究に積極的に取り組める人
- ④ 電気電子工学分野の専門知識を背景に、異分野にも関心をもち、社会貢献や国際交流にも意欲的な人

■ 都市基盤工学コース

都市基盤の維持管理、防災・減災、都市環境の諸問題について、先端的・実践的な専門知識を身につけた高度な専門技術者、及び専門分野の枠を超えて幅広い教養と広範な視野を持ち、自立的に地域や社会に貢献する意欲を持った人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 都市基盤整備のための高度な専門知識を活用し、現象の把握並びに工学的観点からの的確な判断ができることを目指す人
- ② 都市基盤整備のための高度な専門技術と背景にある知識を修得し、独創的かつ合理的な発想力と表現力を鍛錬したい人
- ③ 都市基盤整備のための高度な専門知識を修得し、ものづくりを通して社会に貢献することを目指す人
- ④ 都市基盤工学関連分野において、地域発展あるいは国際的に貢献することを目指す人

■ 建築環境デザインコース

建築・都市空間のデザイン，建築環境等の諸問題について，先端的・実践的な専門知識を身につけた高度な専門技術者，及び専門分野の枠を超えて幅広い教養と広範な視野を持ち，自立的に地域や社会に貢献する意欲を持った人材を養成します。そのために，以下に示すような学生を求めています。

- ① 建築・都市デザインのための高度な専門知識を活用し，現象の把握並びに工学的観点からの確かな判断ができることを目指す人
- ② 建築・都市デザインのための高度な専門技術と背景にある知識を修得し，独創的かつ合理的な発想力と表現力を鍛錬したい人
- ③ 建築・都市デザインのための高度な専門知識を修得し，ものづくりを通して社会に貢献することを旨とする人
- ④ 建築・都市デザイン関連分野において，地域発展あるいは国際的に貢献することを旨とする人

【2】入学者選抜の基本方針

理工学研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、外国語と専門科目の筆記試験及び成績証明書等によって評価します。また、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

推薦入試

学士課程教育において優れた成績を修めた者を対象として、研究者及び技術者としての資質や能力、志望分野への研究意欲や熱意を重点的に評価する推薦入試を行います。大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、口頭試問、推薦書及び成績証明書によって評価します。また、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験及び推薦書によって評価します。

AO入試

一般入試の成績だけでは評価困難である特徴的な資質や能力、志望分野への研究意欲や熱意を重点的に評価するAO入試を行います。大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、適性検査、TOEICスコア、志望理由書及び成績証明書によって評価します。また、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、適性検査及び志望理由書によって評価します。

社会人特別入試

急速な進展と多様化・高度化が進む科学技術の発展に貢献する高度な専門技術者・研究者の育成を主な目的として、社会経験を有する人々を積極的に受け入れる社会人特別入試を行います。本入試では、志望分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、口頭試問、研究業績書、推薦書（任意）及び成績証明書によって評価します。また、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験、研究計画書及び推薦書（任意）によって評価します。

外国人留学生特別入試

グローバル化が進む現代社会の中で、我が国や母国等において志望分野を中心に国際的に活躍することを目指す外国人留学生を積極的に受け入れるために、外国人留学生入試を行います。本入試では大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、外国語と専門科目の筆記試験、口頭試問、推薦書及び成績証明書によって評価します。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、口頭試問と推薦書によって評価します。さらに、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験及び推薦書によって評価します。

理工学研究科（博士前期課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

| 観点 | 入学後に必要な能力や適性等 | 評価方法 | 入試方法 | 対象コース |
|-------------|------------------------------|--|---|---|
| 知識・理解・思考・判断 | 大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識 | 専門科目の筆記試験と TOEIC のスコアによって、専門分野で学ぶために必要な基礎学力を評価します。 | 一般入試 | 全コース |
| | | 専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。 | 外国人留学生特別入試 | 物理学コース 知能情報工学コース 機械エネルギー工学コース 機械システム工学コース 電気電子工学コース |
| | | 専門科目の口述試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。 | 外国人留学生特別入試 | 数学コース データサイエンスコース 機能材料化学コース 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース |
| | | 成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。 | 一般入試 推薦入試 AO入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試 | 全コース |
| | | 推薦書によって、在学中の成績順位や現在の評価、将来性等を参考にします。 | 推薦入試 | 全コース |
| | | 推薦書によって、推薦の理由を参考にします。 | 社会人特別入試（任意） 外国人留学生特別入試 | 全コース |
| | 専門分野における学習能力や研究遂行能力 | 口頭試問によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。 | 推薦入試 社会人特別入試 | 全コース |
| | | 適性検査と志望理由書によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。 | AO入試 | 全コース |
| | | 研究計画書によって、これまでの研究概要と入学後の研究計画を評価します。 | 推薦入試 社会人特別入試 | 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース 全コース |
| | | 研究業績書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。 | 社会人特別入試 | 全コース |
| | | 推薦書によって、推薦の理由を参考にします。 | 社会人特別入試（任意） 外国人留学生特別入試 | 全コース |
| 興味・関心・態度・意欲 | 志望分野・コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲 | 面接試験によって、志望分野・コースで学ぶ動機、意欲等を評価します。 | 一般入試 | 全コース |
| | | 面接試験と推薦書によって、志望分野・コースで学ぶ動機、意欲等を評価します。 | 推薦入試 社会人特別入試（推薦書任意） 外国人留学生特別入試 | 全コース |
| | | 適性検査と志望理由書によって、志望分野・コースで学ぶ動機、意欲等を評価します。 | AO入試 | 全コース |

Ⅱ AO入試

1 趣 旨

広く有能な人材を募集し、優れた研究者及び技術者を育成するため、さらに他大学等からの学生受入れによる学生交流をも促進する目的で、理工学研究科博士前期課程にAO入試制度を設けています。

2 募集人員

| | 分野・コース | | 募集人員 | 教育研究分野 |
|-------------|-----------------------|--------------|-------|--------|
| | 理 工 学 専 攻 | 数理・情報分野 | 数学コース | 11 人 |
| 知能情報工学コース | | | | |
| データサイエンスコース | | | | |
| 物理学コース | | | | |
| 機能材料化学コース | | | | |
| 機械工学分野 | | 機械エネルギー工学コース | | |
| | | 機械システム工学コース | | |
| 電気電子工学コース | | | | |
| 都市基盤工学コース | | | | |
| 建築環境デザインコース | | | | |
| 計 | | | 11 人 | |

(注1) 数理・情報分野は3コースの中から第2志望まで志望できます。ただし、「数学コース・知能情報工学コース」の組み合わせはできません。

(注2) 機械工学分野は2コースの中から第2志望まで志望できます。入学後それぞれのコースに分かれます。

3 出願資格

合格した場合は、確実に入学できる者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び2023年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国に大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に

指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修行年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者〔下記の(注2)を参照してください。〕
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の(注2)を参照してください。〕
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の(注2)を参照してください。〕
- (12) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の(注2)を参照してください。〕
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日において満22歳に達したもの(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)〔下記の(注1)及び(注2)を参照してください。〕

(注1) 出願資格(12)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。(ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ)

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2022年10月21日(金)までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書(様式院9-1)」に「入学試験出願資格認定審査調書(様式院9-2)」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、2023年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件(事前に本人に通知します。)を審査します。審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

4 出願期間

(1) 出願期間：2022年10月26日（水）～11月2日（水）

- ① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、2022年11月2日（水）17時必着とします。
- ② 持参の場合は、平日の9時から17時までとします。
- ③ 入試課ウェブサイト（ https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html ）の「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形2号の封筒に貼付し提出してください。

なお、出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

(2) 提出先：佐賀大学学務部入試課

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の3日前までに届くように、郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、平日の9時から17時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

5 出願書類等（AO入試）

下記の出願書類を入試課ウェブサイト（https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードして提出してください。

| 区 分 | 備 考 |
|--|--|
| 入 学 検 定 料 (30,000 円) | <p>本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。</p> <p>次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 <p>なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p> |
| 検 定 料 振 込 証 明 台 紙 | 上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。 |
| 入学志願書（様式院1-5） 履 歴 書 写 真 票（様式院2-5） 受 験 票（様式院3-5） | <p>※印以外の所定の欄はすべて記入してください。</p> <p>写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。</p> |
| 成 績 証 明 書 | 最終出身学校の成績証明書を提出してください。（卒業（修了）見込みを含む） |
| 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等 ^(注1) | 出身大学等作成の卒業（修了）見込み証明書等を提出してください ^(注2) 。 |
| 志 望 理 由 書 (様 式 院 6) | <p>本学所定の用紙に記入してください。（800～1,000字程度）</p> <p>※自身の研究計画を明らかにして記入してください。</p> |
| 返 信 用 封 筒 | 受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、84円分の切手を貼り付けてください。 |
| TOEIC スコア 証明書 (公開テスト又は IP テスト) または TOEFL スコア 証明書 (ITP テストを含む) ^(注3) (知能情報工学コース, データサイエンスコース, 機械工学分野のみ) | <p>入学試験日から2年以内に受験した TOEIC テスト（公開テスト又は IP テスト）または TOEFL テスト（ITP テスト含む）のスコア証明書の原本^(注4)を提出してください。スコア証明書は受験票を発送する際に併せて返却します。提出されたスコア証明書は、適性検査時の資料として考慮します。</p> |
| 住 所 届（様式院10） | 本学所定の住所届に必要事項を記入してください。 |
| 在 留 資 格 を 証 明 す る 書 類 | <p>○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、「在留カード」または市区町村長の発行する「外国人登録証」の表裏両面をコピーしたものを提出してください。（市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」の提出でも可）</p> <p>○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。</p> |

(注1) 合格者について、2023年3月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を入学手続き時に提出してください。

(注2) 出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

(注3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう TOEIC テストおよび TOEFL テストの中止の影響で、TOEIC テストまたは TOEFL テストのスコア証明書を提出できない方については、今年度限り各分野・コースごとに特例措置を行います。(下記「新型コロナウイルス感染症の影響で TOEIC または TOEFL スコアを提出できない方への特例措置について」を参照してください。)

(注4) スコア証明書の原本について、「TOEIC-IP テスト (オンライン版)」のテスト結果については、出願書類として提出することはできません。なお、「TOEFL iBT Home Edition」のスコア証明書に関しては出願書類として提出できます。

新型コロナウイルス感染症の影響で TOEIC または TOEFL スコアを提出できない方への特例措置について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう TOEIC テストおよび TOEFL テストの中止の影響で、TOEIC テストまたは TOEFL テストのスコア証明書を提出できない方について、以下の表のとおり、各コースごとに特例措置を行います。

なお、以下の表以外の分野・コースでは特例措置は行いません。

| コース | 措置内容 |
|--------------------------|---|
| 数学コース | 今年度限り、TOEIC または TOEFL スコアを提出する必要はありません。 |
| 物理学コース | 今年度限り、TOEIC または TOEFL スコアを提出する必要はありません。 |
| 機能材料化学コース | 今年度限り、TOEIC または TOEFL スコアを提出する必要はありません。 |
| 電気電子工学コース | 今年度限り、TOEIC または TOEFL スコアを提出する必要はありません。 |
| 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース | 今年度限り、TOEIC または TOEFL スコアを提出する必要はありません。 |

(注) TOEIC または TOEFL スコア証明書の取り扱いについて不明の点があれば、事前に学務部入試課にお問い合わせください。

災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

(ア)災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

(イ)災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試（編入学を含む）及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除（入試成績の開示請求に係る成績通知手数料は除く。）する。

3) 免除の対象となる期間

上記 2) の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの 2 年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に本学学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

(ア)検定料免除申請書（別紙様式）

本学ホームページ「受験生の方へ→大学院入試→募集要項」からダウンロードできます。

(イ)り災証明書又は被害証明書（上記 1) (ア)に該当する者）

(ウ)死亡を証明する書類（上記 1) (イ)に該当する者）

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、本学学務部入試課までご連絡ください。

6 入試方法

入学者の選抜は、専攻する専門分野の内容等について適性検査を行い、成績証明書及び志望理由書等を総合して判定します。

●適性検査

| 分野・コース | 内容 |
|--------------------------|--|
| 数理・情報分野 | <p>口頭試問及び面接</p> <p>口頭試問では、これまでの研究概要（卒業見込みの場合は卒業研究の進捗状況）及び入学後の研究計画について各受験者が10分程度で説明し、その後に質疑応答を行う。</p> <p>※説明の方法は自由。プロジェクター、ホワイトボードもしくは黒板、書画カメラは本学で準備する。ノートパソコン等は持参すること。</p> |
| 物理学コース | 口頭試問及び面接 |
| 機能材料化学コース | <p>プレゼンテーション（口頭試問及び面接を含む）</p> <p>これまでの研究内容のプレゼンテーションを行う。</p> <p>1人あたりプレゼンテーション3分程度、質疑応答5分程度とする。</p> <p>※プレゼンテーション方法は自由。プロジェクターは本学で準備する。ノートパソコン等は持参すること。</p> |
| 機械工学分野 | <p>プレゼンテーション（口頭試問及び面接を含む）</p> <p>卒業論文の概要説明を日本語又は英語で10分程度行う。</p> <p>※ノートパソコン等は持参すること。</p> |
| 電気電子工学コース | <p>プレゼンテーション（口頭試問及び面接を含む）</p> <p>これまでの研究概要（卒業見込みの場合は卒業研究の進捗状況）及び入学後の研究計画について、各受験者がプロジェクターを用いて10分程度で説明し、その後に質疑応答を行う。口頭試問・面接では、英語での質疑応答を含む。</p> <p>※ノートパソコン等は持参すること。</p> |
| 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース | <p>プレゼンテーション（口頭試問及び面接を含む）</p> <p>研究計画のプレゼンテーションを行う。</p> <p>1人あたりプレゼンテーション10分程度、質疑応答20分程度とする。</p> <p>口頭試問・面接では、英語での質疑応答を含む。</p> <p>※プレゼンテーション方法は自由。プロジェクターは本学で準備する。ノートパソコン等は持参すること。</p> |

7 試験日程等

(1) 集合日時・場所

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている適性検査試験室等に、試験開始 30 分前までに入室してください。

(2) 学力試験等日程

2022 年 11 月 17 日 (木)

| 分野・コース | 試験時間 | 科目名 |
|--|--------|----------|
| 数理・情報分野 (数学コース・データサイエンスコース・ 知能情報工学コース) | 10:00～ | 適性検査 (注) |
| 物理学コース | | |
| 機能材料化学コース | | |
| 機械工学分野 (機械エネルギー工学コース・ 機械システム工学コース) | | |
| 電気電子工学コース | | |
| 都市基盤工学コース | | |
| 建築環境デザインコース | | |

(注) 知能情報工学コース、データサイエンスコース、機械工学分野では、適性検査において提出された TOEIC または TOEFL スコア等を考慮します。また、都市基盤工学コース・建築環境デザインコースについて、適性検査時に英語による口頭試問を行います。

8 合格者発表

2022 年 12 月 13 日 (火) 10 時

本学ウェブサイト (<https://www.saga-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

9 環境・エネルギー・健康科学グローバル教育プログラムについて

機能材料化学コース・機械エネルギー工学コース・機械システム工学コース・電気電子工学コース・都市基盤工学コース・建築環境デザインコースでは、2020 年 10 月 1 日より、アジア諸国の発展と先端的科学技術開発の国際ネットワーク構築に貢献できるグローバル人材を育成するために、「環境・エネルギー・健康科学グローバル教育プログラム」を開設しました。このプログラムでは日本人学生と外国人留学生が共学し、すべての教育研究指導が英語で行なわれます。

本プログラムを履修できる日本人学生の受入人員は 3 名で、TOEIC スコア証明書のスコアが 650 点程度以上の日本人の合格者を対象に希望者を募り選抜します。

外国人留学生に対しては、本プログラム用の入試を別途実施します。

10 AI・データサイエンス高度人材育成プログラムについて

データサイエンスコース，知能情報工学コース，機械エネルギー工学コース，機械システム工学コース，電気電子工学コースでは，2022年10月1日より，AIやデータサイエンスによる技術革新に貢献するグローバルな研究者や技術者を育成するために，「AI・データサイエンス高度人材育成プログラム」を開設します。このプログラムでは日本人学生と外国人留学生在が共学し，すべての教育研究指導が英語で行なわれます。

本プログラムを履修できる日本人学生の受入人員は若干名で，TOEICスコアが650点程度以上の日本人の合格者を対象に希望者を募り選抜します。

外国人留学生に対しては，本プログラム用の入試を別途実施します。

Ⅲ 社会人特別入試

1 趣 旨

科学技術の進歩，社会の複雑化のなかで社会人の学修希望が高まり，再教育に対するニーズが高まっています。

本学大学院においては，大学卒業後，社会経験を経た人を受け入れて，大学学部より高度の研究活動を行い，開かれた大学院として社会に役立つ研究と技術開発の推進を図り，あわせて，生涯教育に寄与しようとするものです。

この選抜により入学した者に対しては，大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。<21 ページ参照>

2 募集人員

| 分野・コース | | 教育研究分野 | 募集人員 | |
|--------|-------------|--------------|--|-----|
| 理工学専攻 | 数理・情報分野 | 数学コース | 若干人 | |
| | | 知能情報工学コース | | |
| | | データサイエンスコース | | |
| | 物理学コース | | Ⅷ 教育研究分野等（目次参照） 理工学研究科の「主な研究分野」 に掲げる各コースの全ての研究 分野 | 若干人 |
| | 機能材料化学コース | | | 若干人 |
| | 機械工学分野 | 機械エネルギー工学コース | | 若干人 |
| | | 機械システム工学コース | | |
| | 電気電子工学コース | | | 若干人 |
| | 都市基盤工学コース | | | 若干人 |
| | 建築環境デザインコース | | | 若干人 |

数理・情報分野，機械工学分野は，入学後それぞれのコースに分かれます。

3 出願資格

次のいずれかに該当する者で，2年以上（入学する月（4月）の前までの間）官公庁，企業又は教育機関等の現業に従事している者又は従事した者とします。

なお，合格者のうち「2年以上」という要件を入学する月の前で満たした者については，入学時にその旨の証明書を提出してください。その時点でこの要件を満たしていないことが判明した場合は入学を取り消します。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者〔下記の（注2）を参照してください。〕
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注2）を参照してください。〕
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注2）を参照してください。〕
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注2）を参照してください。〕
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日において満22歳に達したもの（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）〔下記の（注1）及び（注2）を参照してください。〕
- （注1）出願資格(12)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。
- （注2）出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。
- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2022年10月21日（金）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式院9-1）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式院9-2）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。
- なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。

4 出願期間

(1) 出願期間：2022年10月26日（水）～11月2日（水）

① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、2022年11月2日（水）17時必着とします。

② 持参の場合は、平日の9時から17時までとします。

③ 入試課ウェブサイト（https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）の「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形2号の封筒に貼付し提出してください。

なお、出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

(2) 提出先：佐賀大学学務部入試課

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の3日前までに届くように、郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、平日の9時から17時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

5 出願書類等（社会人特別入試）

下記の出願書類を入試課ウェブサイト（https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードして提出してください。

| 区 分 | 備 考 |
|---|--|
| 入 学 検 定 料 30,000 円 | <p>本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。</p> <p>次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 <p>なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p> |
| 検 定 料 振 込 証 明 台 紙 | <p>上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。</p> |
| 入学志願票（様式院 1 - 3） 履 歴 書 写 真 票（様式院 2 - 3） 受 験 票（様式院 3 - 3） | <p>※印以外の所定の欄はすべて記入してください。</p> <p>写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。</p> |
| 成 績 証 明 書 | <p>最終出身学校の成績証明書を提出してください。</p> |
| 卒 業（修了）証 明 書 等 | <p>最終出身学校の卒業（修了）証明書等を提出してください。</p> |
| 研 究 業 績 書 （様式院 7 - 2） | <p>本学所定の用紙に研究論文、技術報告書、特許、実用新案、卒業研究報告書等本人の業績又は業務内容を示すものを提出してください。</p> |
| 研 究 計 画 書 （様式院 7 - 1） | <p>本学所定の用紙に大学院における自己の希望する研究内容（1,000 字以内）を記入してください。</p> |
| 出 願 承 認 書 （様式院 5） | <p>本学所定の用紙を用いてください。</p> |
| 推 薦 書 （様式は任意） | <p>勤務先所属長又は従事した勤務先所属長が推薦し、厳封したものを提出してください。ただし、任意提出とします。</p> |
| 返 信 用 封 筒 | <p>受験票を送付しますので、長形 3 号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、84 円分の切手を貼り付けてください。</p> |
| 住 所 届 （様式院 10） | <p>本学所定の住所届に必要事項を記入してください。</p> |
| 在留資格を証明する書類 | <p>○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、「在留カード」又は市区町村長の発行する「外国人登録証」の表裏両面をコピーしたものを提出してください。（市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」の提出でも可）</p> <p>○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。</p> |

災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

(ア)災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

(イ)災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試（編入学を含む）及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除（入試成績の開示請求に係る成績通知手数料は除く。）する。

3) 免除の対象となる期間

上記 2) の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの 2 年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に本学学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

(ア)検定料免除申請書（別紙様式）

本学ホームページ「受験生の方へ→大学院入試→募集要項」からダウンロードできます。

(イ)り災証明書又は被害証明書（上記 1) (ア)に該当する者）

(ウ)死亡を証明する書類（上記 1) (イ)に該当する者）

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、本学学務部入試課までご連絡ください。

6 入試方法

入学者の選抜は、口述試験のほか、提出された研究業績書、修学したい研究課題・専攻する専門分野の内容等についても面接試験を行い、学力、面接、成績証明書及び研究業績書等を総合して判定します。

7 試験日時等

(1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている面接控室に、試験開始 30 分前までに入室してください。

(2) 学力試験等日程

●2022 年 11 月 17 日（木）10：00～ 口述試験及び面接

8 合格者発表

2022 年 12 月 13 日（火）10 時

本学ウェブサイト（ <https://www.saga-u.ac.jp/> ）に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

9 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育の実施について

近年、大学院における社会人技術者、研究者等の再教育への要望は高まっていますが、通常の教育方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は最低 2 年間その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第 14 条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人等の修学に配慮がなされています。

本学大学院理工学研究科では、大学院での履修を希望する社会人技術者等に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。

この概要は、次のとおりです。

- (1) 2 年のうち最初の 1 年間はフルタイムの通学をすることを原則とし、課程修了に必要な 30 単位のうち 20 単位以上は通常の授業時間帯における履修によって修得します。
- (2) 特例の授業時間帯は、夜間の 1 時限（18 時 00 分～19 時 30 分）とし、当該授業の履修によって修得した単位のうち 10 単位までを課程修了に必要な単位数に含めることができます。
- (3) 学生には、年度始めに 2 年間にわたる開講計画を予告し、指導教員の指導のもとに 2 年間を見通した履修計画を立てさせます。

IV 外国人留学生特別入試

1 募集人員

| | 分野・コース | | 教育研究分野 | 募集人員 |
|-----------------------|-------------|--------------|---|------|
| 理 工 学 専 攻 | 数理・情報分野 | 数学コース | VI 教育研究分野等（目次参照） 理工学研究科の「主な研究分野」 に掲げる各コースの全ての研究 分野 | 若干人 |
| | | 知能情報工学コース | | |
| | | データサイエンスコース | | |
| | 物理学コース | | | 若干人 |
| | 機能材料化学コース | | | 若干人 |
| | 機械工学分野 | 機械エネルギー工学コース | | 若干人 |
| | | 機械システム工学コース | | |
| | 電気電子工学コース | | | 若干人 |
| | 都市基盤工学コース | | | 若干人 |
| | 建築環境デザインコース | | | 若干人 |

数理・情報分野、機械工学分野は、入学後それぞれのコースに分かれます。

2 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した後、日本の大学に入学し、卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2023 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2023 年 3 月までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者〔下記の（注2）を参照してください。〕
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注2）を参照してください。〕
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注2）を参照してください。〕
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注2）を参照してください。〕
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日において満22歳に達したもの（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）〔下記の（注1）及び（注2）を参照してください。〕

（注1）出願資格(12)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

（注2）出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。（ただし、③については出願資格(9)、(10)及び(11)による出願希望者のみ）

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2022年10月21日（金）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式院9-1）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式院9-2）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。

なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。

- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(9)、(10)及び(11)による者で、入学試験に合格した者に対しては、2023年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件（事前に本人に通知します。）を審査します。審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

3 出願期間

- (1) 出願期間：2022年10月26日（水）～11月2日（水）
- ① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、2022年11月2日（水）17時必着とします。
- ② 持参の場合は平日の9時から17時までとします。
- ③ 入試課ウェブサイト（https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）の「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形2号の封筒に貼付し提出してください。
- なお、出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

(2) 提出先：佐賀大学学務部入試課

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の3日前までに届くように、郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、平日の9時から17時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

4 出願書類等（外国人留学生特別入試）

下記の出願書類を入試課ウェブサイト（https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードして提出してください。

| 区 分 | 備 考 |
|--|--|
| 入 学 検 定 料 30,000 円 | <p>本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。</p> <p>次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 <p>なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p> |
| 検 定 料 振 込 証 明 台 紙 | <p>上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。</p> |
| 入学志願票（様式院 1 - 4） 写 真 票（様式院 2 - 4） 受 験 票（様式院 3 - 4） | <p>※印以外の所定の欄はすべて記入してください。</p> <p>写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。</p> |
| 成 績 証 明 書 | <p>最終出身学校の成績証明書を提出してください。（卒業（修了）見込みを含む）</p> |
| 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等 ^(注1) | <p>出身大学等作成の卒業（修了）見込証明書を提出してください^(注2)。</p> |
| 推 薦 書 （ 様 式 院 4 ） | <p>本学所定の用紙に学部長又は指導教員が記載したものを提出してください。</p> |
| 履 歴 書 （ 様 式 院 8 ） | <p>本学所定の用紙を用いてください。</p> |
| 返 信 用 封 筒 | <p>受験票を送付しますので、長形 3 号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、84 円分の切手を貼り付けてください。</p> |
| TOEIC スコア証明書 （公開テスト又は IP テスト） または TOEFL スコア証明書 （ITP テストを含む） （知能情報工学コース，データサイエンスコース，機械工学分野，都市基盤工学コース，建築環境デザインコースのみ） | <p>入学試験日から 2 年以内に受験した TOEIC テスト（公開テスト又は IP テスト）または TOEFL テスト（ITP テスト含む）のスコア証明書の原本^(注3)を提出してください。スコア証明書は受験票を発送する際に併せて返却します。</p> |
| 住 所 届 （ 様 式 院 10 ） | <p>本学所定の住所届に必要事項を記入してください。</p> |
| 在留資格を証明する書類 | <p>○日本国内に在住しているときは、「在留カード」または市区町村長の発行する「外国人登録証」の表裏両面をコピーしたものを提出してください。 （市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」の提出でも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。</p> |

- (注1) 合格者について、2023年3月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を入学手続き時に提出してください。
- (注2) 出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。
- (注3) スコア証明書の原本について、「TOEIC-IP テスト（オンライン版）」のテスト結果については、出願書類として提出することはできません。なお、「TOEFL iBT Home Edition」のスコア証明書に関しては出願書類として提出できます。

災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

(ア) 災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

(イ) 災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試（編入学を含む）及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除（入試成績の開示請求に係る成績通知手数料は除く。）する。

3) 免除の対象となる期間

上記2)の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの2年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に本学学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

(ア) 検定料免除申請書（別紙様式）

本学ホームページ「受験生の方へ→大学院入試→募集要項」からダウンロードできます。

(イ) 災証明書又は被害証明書（上記1) (ア)に該当する者）

(ウ) 死亡を証明する書類（上記1) (イ)に該当する者）

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、本学学務部入試課までご連絡ください。

5 入試方法

入学者の選抜は、修学に必要な学力、能力及び専攻する専門分野の内容等について、学力試験及び面接試験を行い、学力及び面接等を総合して判定します。

① 学力試験

| 分野・コース | | 試験科目① | 試験科目② | 試験方法 |
|-------------|-----------------|--|-------------------------------------|----------------------------|
| 数理・情報 分野 | 数学コース | 微分積分学 線形代数学 専門分野（代数学、幾何学、 解析学から選択） | | 口述試験 (面接を含みます。) |
| | 知能情報 工学コース | これまでの研究概要（卒業見込みの場合は卒業研究の進捗状況）及び入学後の研究計画についての説明（10分程度）と試問（注1） | 英語 (TOEIC 又は TOEFL スコアで判定します) | 口述試験 (面接を含みます。) |
| | データサイエンス コース | 既修得分野に関する専門知識・ 研究計画とその関連知識に関する試問 | | 口述試験 (面接を含みます。) |
| 物理学コース | | 力学，電磁気学 量子力学，統計力学 | | 口述試験 (面接を含みます。) |
| 機能材料化学コース | | 化学 英語 | | 口述試験 (面接を含みます。) |
| 機械工学分野 | | 希望する分野の専門科目 | | 口述試験 (面接を含みます。) (注2) |
| 電気電子工学コース | | 数学 電磁気学，電気回路 | | 筆記試験 |
| 都市基盤工学コース | | 希望する分野の専門科目 | | 口述試験 (面接を含みます。) |
| 建築環境デザインコース | | 希望する分野の専門科目 | | 口述試験 (面接を含みます。) |

(注1) 知能情報工学コースについて、研究概要等の説明方法は自由。プロジェクター、ホワイトボードもしくは黒板、書画カメラは本学で準備する。ノートパソコン等は持参すること。

(注2) 面接では、卒業論文の概要説明を日本語又は英語で10分程度行ってください。なお、ノートパソコン等は持参すること。

② 面接 分野・コースごとに行います。

6 試験日時等

(1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている試験室に、試験開始 30 分前までに入室してください。

(2) 学力試験等日程

●2022 年 11 月 17 日（木）

| 分野・コース | | 学 力 試 験 | | | 面 接 |
|-------------|-----------------|---|--------------------|----------------------------|--------|
| | | 専 門 科 目 | 試験方法 | 試験時間 | |
| 数理・情報 分野 | 数学コース | 微分積分学 線形代数学 専門分野（代数学，幾何学， 解析学から選択） | 口述試験 (面接を含みます。) | 10:00～ | |
| | 知能情報 工学コース | これまでの研究概要（卒業見込みの場合は卒業研究の進捗状況）及び入学後の研究計画についての説明（10 分程度）と試問 | 口述試験 (面接を含みます。) | 10:00～ | |
| | データサイエンス コース | 既修得分野に関する専門知識・研究計画とその関連知識に関する試問 | 口述試験 (面接を含みます。) | 10:00～ | |
| 物理学コース | | 力学，電磁気学 量子力学，統計力学 | 口述試験 (面接を含みます。) | 10:00～ | |
| 機械工学分野 | | 希望する分野の専門科目 | 口述試験 (面接を含みます。) | 10:00～ | |
| 電気電子工学コース | | 数学 電磁気学，電気回路 | 筆記試験 筆記試験 | 10:00～11:00 13:00～15:00 | 15:30～ |
| 都市基盤工学コース | | 希望する分野の専門科目 | 口述試験 (面接を含みます。) | 10:00～ | |
| 建築環境デザインコース | | 希望する分野の専門科目 | 口述試験 (面接を含みます。) | 10:00～ | |

7 合格者発表

2022 年 12 月 13 日（火） 10 時

本学ウェブサイト（<https://www.saga-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するほか，合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお，電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

V 入学手続等

i 入学手続

入学手続はオンラインにより行います。

入学手続の方法等については、合格通知書を送付する際に手続に関するお知らせを同封しますので、必ず確認してください。

手続期間：2023年1月16日（月）～1月23日（月）17:00まで

ii 納入金

入学料：282,000円（入学手続時に納入してください。）

授業料：267,900円（前期・後期）〔年間535,800円〕

※この金額は、2022年4月現在のものです。

（留意事項）

- (1) 入学時又は在学時に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくことになります。

なお、合格通知送付の際、納入方法等改めてお知らせします。

- (2) 授業料（前期分）は、入学手続時に納入する必要はありません。納入期間は、下記のとおりです。（入学後に付与される学籍番号が必要となります。）

入学式～5月31日（水）

- (3) 一旦納入された入学料は返還できません。
- (4) 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。

なお、入学料免除及び徴収猶予の申請をした者で、入学を辞退する場合は入学料の全額を納付してください。

iii 奨学金

- (1) 学業優秀で、経済的な理由により修学が困難な学生のみなさんのために奨学金制度が準備されています。

① 日本学生支援機構奨学金

- ・ 第一種奨学生（無利子）

貸与月額 50,000円又は88,000円

- ・ 第二種奨学生（有利子）

貸与月額 50,000円,80,000円,100,000円,130,000円,150,000円から選択

② その他の奨学金

この他に地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。詳しくは、次の問い合わせ先にお尋ねください。

(2) 奨学金に対する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部学生生活課 奨学金担当

TEL : 0952-28-8172

iv 教育職員免許状

取得できる専修免許状は、別表（36 ページ）「取得できる教育職員免許状」のとおりです。

ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有することが必要です。

v 出願上の留意事項

(1) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受け付けません。

(2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。

また、既納の入学検定料は一切返還しません。

入学志願票等の記入上の注意及び記入例

- 1 志願票等の記入は、募集要項を熟読の上記入してください。
- 2 ※印欄は、記入しないでください。
- 3 志願票・受験票・写真票に希望する入学年月を記入してください。

(記入例)

「志望研究科，専攻，分野・コース」の欄

| | | |
|---------------------------|--------------------|---|
| 志望研究科，専攻， 分野・コース | コード (第4表 参照) | |
| 理工学 研究科 | 4 | 3 |
| 理工学 専攻 | I | K |
| 数理・情報 (分野) ・コース | | |
| (理工学研究科は記入しない) 分野 | | |

- 研究科，専攻，分野またはコースを記入してください。
 - コードは(第4表)を参照し，1コマずつ正確に記入してください。
 - 機械工学分野志願者は分野名を記入し，別枠で志望コースを記入してください。第2志望まで志望できます。
 - 【AO入試志願者のみ】数理・情報分野志願者は3コースの中から第2志望まで志望できます。ただし，「数学コース・知能情報工学コース」の組み合わせはできません。
- 機械工学分野志願者は2コースの中から第2志望まで志望できます。別枠で志望コースを記入してください。

「氏名」欄

| | | | | | | |
|-------------------|---|---|--|---|---|---|
| 漢字(アルファ ベット)氏名 | 佐 | 賀 | | 太 | 郎 | |
| フリガナ (カタカナ) | サ | ガ | | タ | ロ | ウ |

- 漢字等氏名
常用漢字で記入してください。(JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合，その文字が置き換えられます。)

【置き換えられる文字の例】

高 → 高 崎 → 崎 桑 → 桑
土 → 土 吉 → 吉 原 → 原

「性別」及び「生年月日」の欄

| | | | | | | | | |
|----|---------|-----|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 生 年 月 日 | | | | | | | |
| 男 | 女 | 西 暦 | | 年 | 月 | 日 | | |
| ✓ | | 2 | 0 | 0 | 0 | 9 | 1 | 7 |

- 性別は，該当する個所に✓を入れてください。
- 生年月日で，月及び日が1ケタの場合は右づめとし，1コマ目は「0」を記入してください。

「出身県等」，「留学生」及び「出身学校等」の欄

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---------------|------|-----------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 出身県等 | 留学生 | 選抜種別 | 出身学校等 | | | | | | | | | | |
| 第1表 参照 | 国・地域 第2表参照 | | 第3表 参照 | 卒業年月等 | | | | | | | | | |
| | | | | 西 暦 | 年 | 月 | | | | | | | |
| 4 | 1 | | | | 1 | 3 | 3 | 2 | 0 | 2 | 3 | 0 | 3 |

- 出身県等は，(第1表)により，コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入してください。
- 留学生は，(第2表)により，コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入してください。
- 出身学校等は，(第3表)により，コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入し，卒業年月等(見込みを含みます。)を西暦で記入してください。

「現住所及び連絡先等」の欄

●本学から出願書類等について連絡する場合もあるので、正確に記入してください。

なお、出願後、この欄に変更があった場合は電話連絡するとともに、ハガキ等でもお知らせください。

「住所届」

●合格通知書は、これに記載された現住所に送付するので、正確に記入してください。

なお、出願後、住所に変更があった場合は電話連絡するとともに、ハガキ等でもお知らせください。

(連絡先) 佐賀大学学務部入試課

(第1表) 都道府県コード

| | | | | | | | | | |
|-----|----|------|----|------|----|-----|----|------|----|
| 北海道 | 01 | 埼玉県 | 11 | 岐阜県 | 21 | 鳥取県 | 31 | 佐賀県 | 41 |
| 青森県 | 02 | 千葉県 | 12 | 静岡県 | 22 | 島根県 | 32 | 長崎県 | 42 |
| 岩手県 | 03 | 東京都 | 13 | 愛知県 | 23 | 岡山県 | 33 | 熊本県 | 43 |
| 宮城県 | 04 | 神奈川県 | 14 | 三重県 | 24 | 広島県 | 34 | 大分県 | 44 |
| 秋田県 | 05 | 新潟県 | 15 | 滋賀県 | 25 | 山口県 | 35 | 宮崎県 | 45 |
| 山形県 | 06 | 富山県 | 16 | 京都府 | 26 | 徳島県 | 36 | 鹿児島県 | 46 |
| 福島県 | 07 | 石川県 | 17 | 大阪府 | 27 | 香川県 | 37 | 沖縄県 | 47 |
| 茨城県 | 08 | 福井県 | 18 | 兵庫県 | 28 | 愛媛県 | 38 | | |
| 栃木県 | 09 | 山梨県 | 19 | 奈良県 | 29 | 高知県 | 39 | | |
| 群馬県 | 10 | 長野県 | 20 | 和歌山県 | 30 | 福岡県 | 40 | 外国 | 99 |

(第2表) 国・地域コード

| | | | | | | | | | |
|---------|-----|-------------|-----|------------|-----|----------|-----|---------|-----|
| パキスタン | 101 | 大韓民国 | 113 | イラン | 201 | ウガンダ | 312 | オランダ | 710 |
| インド | 102 | モンゴル | 114 | トルコ | 202 | エチオピア | 320 | ドイツ | 711 |
| ネパール | 103 | ベトナム | 115 | シリア・アラブ共和国 | 204 | オーストラリア | 401 | フランス | 712 |
| バングラデシュ | 104 | 中華人民共和国 | 116 | バーレーン | 215 | ニュージーランド | 402 | スペイン | 713 |
| スリランカ | 105 | カンボジア | 117 | エジプト | 301 | カナダ | 501 | イタリア | 715 |
| ミャンマー | 106 | ブータン | 118 | スーダン | 302 | アメリカ合衆国 | 502 | ポーランド | 721 |
| タイ | 107 | ラオス | 119 | リビア | 303 | ドミニカ | 607 | チェコ | 722 |
| マレーシア | 108 | ブルネイ | 120 | ケニア | 307 | ブラジル | 608 | ハンガリー | 723 |
| シンガポール | 109 | マカオ | 121 | タンザニア | 308 | ホンジュラス | 618 | ブルガリア | 726 |
| インドネシア | 110 | 台湾 | 122 | コンゴ | 309 | パナマ | 619 | スロバキア | 732 |
| フィリピン | 111 | 朝鮮民主主義人民共和国 | | ナイジェリア | 310 | イギリス | 707 | ウズベキスタン | 734 |
| 香港 | 112 | | 191 | ガーナ | 311 | ルクセンブルク | 709 | | |

(第3表) 出身学校等

| | | | | | |
|---------------------|----|---------|----|-----------|----|
| 佐賀大学 (教育学部, 教育学研究科) | 31 | 大学 (国内) | 22 | 高等専門学校専攻科 | 24 |
| 佐賀大学 (経済学部, 経済学研究科) | 32 | 大学 (国外) | 23 | 短期大学専攻科 | 25 |
| 佐賀大学 (理工学部, 理工学研究科) | 33 | | | 個別審査 | 26 |
| 佐賀大学 (農学部, 農学研究科) | 34 | | | 専修学校 | 27 |
| 佐賀大学 (医学部, 医学系研究科) | 35 | | | その他 | 29 |

(第4表) 研究科, 専攻, 分野・コースコード

| 研究科コード | | 分野・コースコード | | | |
|--------------------|----|-----------|--------------|-------------|----|
| 理工学研究科 (博士前期課程) | 43 | 数理・情報分野 | 数学コース | IK | |
| | | | 知能情報工学コース | | |
| | | | データサイエンスコース | | |
| | | | | 物理学コース | IB |
| | | | | 機能材料化学コース | IE |
| | | 機械工学分野 | 機械エネルギー工学コース | IF | |
| | | | 機械システム工学コース | | |
| | | | | 電気電子工学コース | IH |
| | | | | 都市基盤工学コース | II |
| | | | | 建築環境デザインコース | IJ |

VI 教育研究分野等

| コース | 主な研究分野 |
|--------------|---|
| 数学コース | 環論，数論，代数幾何学，微分幾何学，リーマン多様体論，複素幾何学，変分法，常微分方程式論，偏微分方程式論，関数解析学，確率過程論，確率解析学 |
| 物理学コース | 素粒子理論，場の理論，宇宙物理学，弦理論，天体核物理学，ハドロン物理学，高エネルギー物理学，放射線物理学，電子波物理学，量子光学，固体物性実験，極限環境物性実験，半導体・超伝導体実験，物質・材料物理学 |
| データサイエンスコース | 情報理論，符号・暗号理論，情報セキュリティ，数値計算法，数値解析学，画像解析，音声・画像処理，深層学習，機械学習，データマイニング，確率論，解析学，幾何学，代数学 |
| 知能情報工学コース | 情報理論，符号・暗号理論，情報セキュリティ，数値解析学，複雑系の科学，創発システム，進化的最適化手法，人工知能，データベース，ソフトウェア工学，情報システム，ニューラルネットワーク，情報ネットワーク学，マルチメディア，ユビキタス・コンピューティング，インターネット，知的教育システム，多次元逆問題，パターン情報認識/理解，コンピュータビジョン，オブジェクト指向，遠隔教育，音声/画像処理，衛星リモートセンシング |
| 機能材料化学コース | 光学活性金属錯体の構築と物性，セラミック発光体・多孔体の開発，セラミックスのナノ構造制御，セラミックス系リチウムイオン電池用電極材料の開発，環境に優しい有機合成反応の開発，有機フッ素化合物の合成と利用，光で動く有機機能性化合物の開発，有機凝集系の構造・物性，高分子コロイドの構造と物性，有機光電子材料の開発と応用，生物電気化学法によるエネルギー生産とセンシングシステムの開発，無機炭素材料の開発と応用，機能物質を活用した金属資源の回収と有害元素の除去，分離材料やプロセスの開発，ナノ・メゾ粒子の液相合成と応用，水圏・土壌圏での物質動態研究 |
| 機械エネルギー工学コース | 環境流動学，流体エネルギー開発工学，流体機器開発工学，熱工学，自然エネルギー利用工学，熱力学，伝熱工学，熱移動工学，熱エネルギー変換工学，海洋エネルギー開発工学，海洋エネルギー変換工学，海洋エネルギー機器開発工学，海洋流体力学，海洋工学，海洋エネルギー利用工学 |

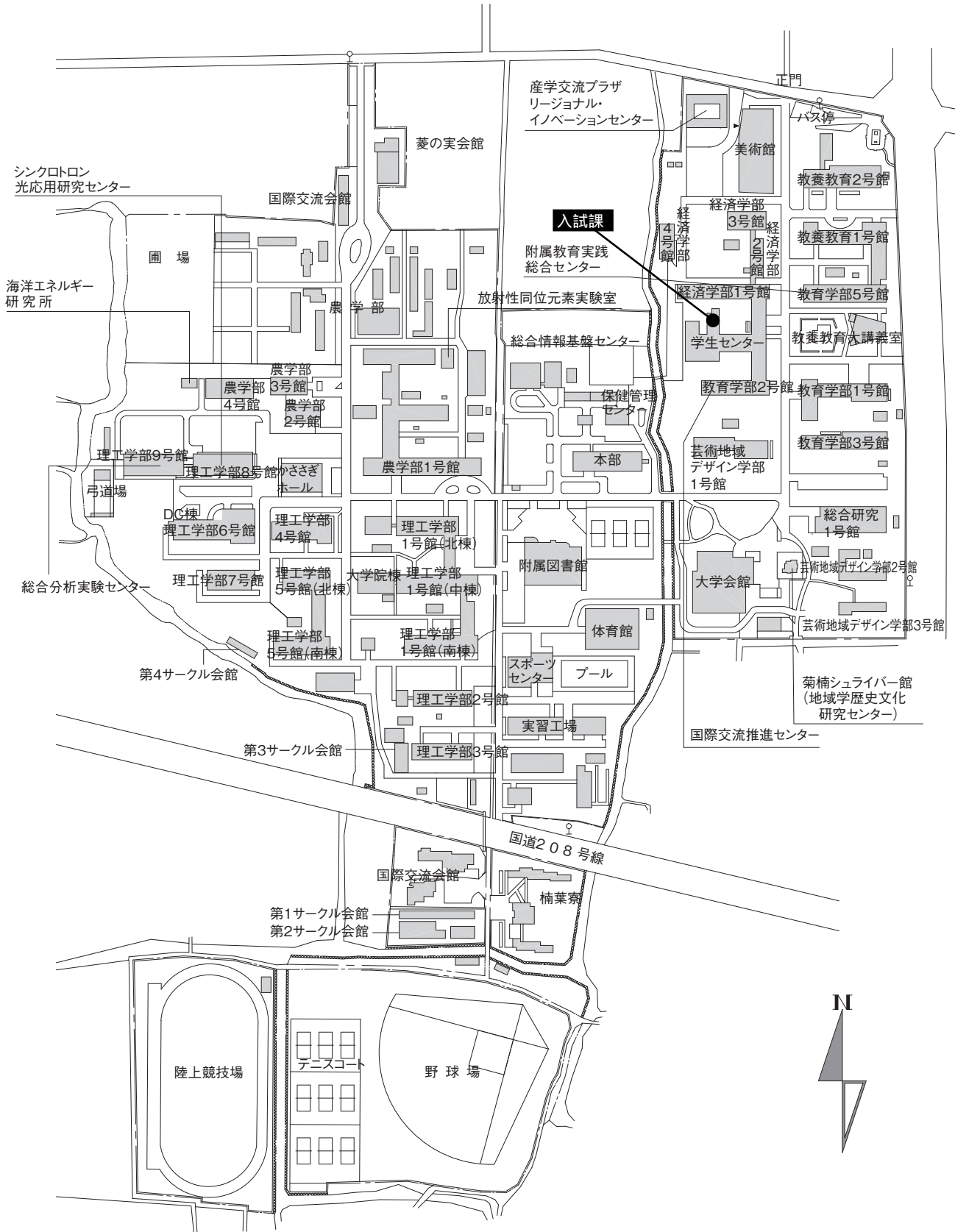
| | |
|-------------|--|
| 機械システム工学コース | 材料力学, 材料強度学, 機械材料, 新素材, 計算力学, CAE, 有限要素法, 構造解析, トライボロジー, 塑性力学, 金属疲労, 先端複合材料, 機械設計工学, 機械要素工学, 表面工学, 精密計測, 精密加工, 生産加工学, 工作機械, 歯車工学, CAD・CAM, ロボット機構設計・計測技術, ソフトコンピューティング |
| 電気電子工学コース | 回路設計, 集積回路, エレクトロニクス実装技術, ユビキタスネットワーク, ワイヤレス通信, マイクロ波集積回路, マイクロ波エネルギーハーベスト, 多機能平面アンテナ, マイクロ波機能回路, RF 送受信モジュール, シンクロトロン光応用, 超高速時間分解計測, 光電子分光, 表面界面ダイナミクス, 機能性薄膜生成, 高密度プラズマ, プラズマ環境応用工学, 熱電材料, 放電プラズマ焼結, 半導体結晶, 半導体薄膜成長と物性評価, 発光デバイス, 太陽電池, 半導体ナノテクノロジー, 次世代半導体プロセス技術, パワー電子デバイス, ワイドギャップ半導体, 放電応用技術, パルスパワー工学, ネットワーク, インターネット, 計算力学, グラフィカル・ユーザ・インターフェース, ニューラルネットワーク, 自己組織化システム, 人工知能, スマートシステム, 画像計測, 遠隔計測 |
| 都市基盤工学コース | 構造解析, 耐震工学, 建設材料, コンクリート構造, 地盤工学, 地盤動力学, 環境地盤工学, 応用水理, 河川工学, 水環境システム, 水資源管理, システム分析, 都市デザイン, 交通システム, 地域情報, 都市社会学, 都市防災, 都市計画 |
| 建築環境デザインコース | 構造解析, 耐震工学, 建設材料, コンクリート構造, システム分析, 都市デザイン, 建築デザイン, 建築・都市史, 建築環境工学, 交通システム, 建築計画, 地域情報, 都市社会学, 都市防災, 都市計画 |

取得できる教育職員免許

| コース | 取得できる専修免許状 | |
|--------------|-------------|-----|
| | 種 類 | 教 科 |
| 数学コース | 中学校教諭専修免許状 | 数学 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 数学 |
| 物理学コース | 中学校教諭専修免許状 | 理科 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 理科 |
| 知能情報工学コース | 高等学校教諭専修免許状 | 情報 |
| 機能材料化学コース | 中学校教諭専修免許状 | 理科 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 理科 |
| 機械エネルギー工学コース | 高等学校教諭専修免許状 | 工業 |
| 機械システム工学コース | 高等学校教諭専修免許状 | 工業 |
| 電気電子工学コース | 高等学校教諭専修免許状 | 工業 |
| 都市基盤工学コース | 高等学校教諭専修免許状 | 工業 |
| 建築環境デザインコース | 高等学校教諭専修免許状 | 工業 |

IX 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

佐賀大学（本庄キャンパス）建物配置図



佐賀市内略図



鍋島キャンパス
Nabeshima Campus

医学部
Faculty of Medicine
附属病院
University Hospital

本庄キャンパス
Honjo Campus

教育学部
Faculty of Education
芸術地域デザイン学部
Faculty of Art and Regional Design
経済学部
Faculty of Economics
理工学部
Faculty of Science and Engineering
農学部
Faculty of Agriculture
全学教育機構
Organization for General Education
リージョナル・イノベーションセンター
Regional Innovation Center
附属図書館
University Library
美術館
Saga University Art Museum

- 交通案内
- 佐賀駅バスセンターからバスで約15分
 - 「4番のりば」から市営バス
 - 【4番】佐賀女子短大・高校線(中央大通り・辻の堂・佐賀大学前経由)
 - 【11番】佐賀大学・西与賀線
 - 【12番】佐賀大学・東与賀線
 - 【63番】佐賀女子短大・高校線(紡績通り・与賀町・佐賀大学前経由)
- で「佐賀大学前」下車
- 佐賀駅からタクシーで約10分
 - 佐賀空港からタクシーで約20分

佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ウェブサイト <https://www.saga-u.ac.jp/>

e-mail contact@mail.admin.saga-u.ac.jp